

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

○2月観光情報

【光の花の庭 フラワーファンタジー2022】

関東最大級500万球を超えるイルミネーションに彩られた幻想の世界。
夜景観光士が選ぶイルミネーションランキングでは7年連続で全国1位に輝きました。

100,000㎡の園内に500万球を超えるイルミネーションが瞬き、訪れる方々に毎年心温まる感動を与えています。

「光のバラ園」や「光の睡蓮」がパーク内を華やかに彩り、「光と花に彩られた幻想的なお城・フラワーキャッスル」もその鮮やかかつ繊細な光で訪れた人たちに大きな感動を与えます。神秘的な大藤棚も花びら一枚一枚をイルミネーションで再現しており、その美しさに、期間中は連日SNS等への写真の投稿が相次ぎます。

日 時:10月15日(土)～2月14日(火)

(平日)午後3時30分～午後9時

(土・日・祝)午後3時30分～午後9時30分

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

料 金:(夜間料金) 大人1,200円、小人600円

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩で3分

東武伊勢崎線足利市駅より車で約30分

(当面の間、シャトルバスの運行は休止となっております。)

北関東自動車道足利ICより約15分

東北自動車道佐野藤岡ICより約18分

【伊萬里の小品をもっと楽しむ -小皿・小鉢・茶碗】

取り皿や醤油皿など、使い方によってはさまざまなよばれ方をする小ぶりの皿と、向付とも称される小さな鉢、手のひらに収まるように作られた茶碗類、これはいずれも日常の食卓に欠かせないうつわです。遡って、一人ずつの膳で食事をするという形式であった江戸時代、各自の膳に収まるように作られたうつわは、現代の私たちが想像する以上に重要な食生活のアイテムでした。

今回の特集では、天塩皿ともよばれる小皿と人気の猪口を含めた小鉢類、蓋付茶碗などの展示の他、前回の展示で紹介できなかった品々、50点ほどを展示しております。

日 時:令和5(2023)年2月26日(日)まで

当面の間、時間短縮で開館しますので詳細につきましてはお問い合わせください。

午前10時～午後4時30分(最終入場は午後4時まで)

休館日:月曜日(祝日の場合翌日)、年末年始(12月27日～1月2日)

場 所:栗田美術館(駒場町)

入館料:一般1,250円(1,000円)/小・中・高500円(400円) ()内は20名以上の団体料金

交 通:JR両毛線あしかがフラワーパーク駅より徒歩10分

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

東武伊勢崎線足利市駅より車で約15分
北関東自動車道足利ICより約15分

【節分鎧年越】

足利に春を呼ぶ伝統行事「鎧年越」が2月3日節分の夜に行われ、坂東武者に扮した市民200人余りが参加する行列が勇壮に練り広げられます。市長扮する主将を中心に鎧・冑かぶとに身を固めた坂東武者が、法螺貝・陣太鼓を鳴らしながら歴史絵巻さながらに大通りを行進し、織姫公民館から鑢阿寺ぼんなじまでの約1.3キロメートルを1時間ほどかけて練り歩きます。

足利氏宅跡の鑢阿寺がんもんに到着すると、市長が足利氏代々の供養と市の繁栄を祈願し「願文」を奉読します。本堂で武者たちが追儼式ついでしき（豆まき）を行った後、本堂裏手に移動して「エイ、エイ、オー」と勇ましく勝どきを上げます。

「鎧年越」は、約750年前の鎌倉時代中期、足利義兼の孫・泰氏（源姓足利氏4代目）が一族の結束と勢力を誇示するため、坂東武者500騎を鑢阿寺南大門に勢揃いさせたという故事にちなんだ古式ゆかしい行事です。1915年（大正4年）繊維業者を中心に復活し、足利を代表する伝統行事として100年以上受け継がれています。

現在、3年ぶりに通常開催の予定ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては規模の縮小や中止となることもございます。

日 時：2月3日（金） 午後6時30分～（毎年同日開催）

場 所：織姫公民館（通6丁目）～鑢阿寺（家富町2220）

交 通：東武伊勢崎線足利市駅より徒歩で約15分

JR両毛線足利駅より徒歩で約15分

北関東自動車道足利ICより約10分

北関東自動車道太田桐生ICより約15分

問合先：立春会（事務局：鑢阿寺） ☎0284-41-2627

花 情 報

開花時期は、気候等により若干前後する場合がありますので、お問合せのうえお出かけください。

問合先：一般社団法人足利市観光協会 ☎0284-43-3000

足利市観光まちづくり課観光・ロケツーリズム担当 ☎0284-20-2165

【ろう梅】

新春にかおり高い花を咲かせるろう梅は、黄色い蠟細工のような花が印象的です。

時 期：1月上旬～3月上旬

場 所：あしかがフラワーパーク（迫間町）、鑢阿寺

【冬ボタン】

冬に咲くボタンは、雪囲いがされ、可愛い印象です。雪ん子のようにも見えます。

時 期：1月中旬～2月下旬

場 所：あしかがフラワーパーク（迫間町）

「観光まちづくり課（観光協会提供）」

【寒椿・寒紅梅】

冬の冷たく乾いた空気を変えてくれる寒紅梅、春への一步を感じさせてくれる可愛らしい花をお楽しみください。

時 期:1月中旬～2月下旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【福寿草】

早春に黄色い花を咲かせることから、江戸時代には、一番に春を告げるという意味で「福告ぐ草(ふくつぐそう)」と呼ばれていたそうです。

時 期:1月下旬～3月上旬

場 所:あしかがフラワーパーク(迫間町)

【マンサク】

榑崎町塩坂峠付近では、「春を告げるためまずさく」といわれているマンサクの黄色い花がハイカーの目を楽しませてくれます。

時 期:2月中旬～3月下旬

場 所:塩坂峠付近(榑崎町)ほか

【梅】

☆栗田美術館

伊萬里・鍋島焼の作品のみならず、季節ごとに庭園、小道の素晴らしさも堪能できる栗田美術館。大手門から入って本館までの通路に咲く梅が美しいと大変好評です。

時 期:2月下旬～3月上旬

問合先:栗田美術館 ☎0284-91-1026

体 験

【八木節】

日本三大音頭の一つとされている、足利の郷土芸能「八木節」の公演資料をご覧頂いたり、実演を楽しんだりしてみませんか。(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前にご連絡をお願い致しております。現在、実演は中止をしております。)

場 所:八木節会館(福居町580-1)

内 容:八木節の公演等

料 金:足利市八木節連合会へご確認ください

交 通:東武伊勢崎線福居駅より徒歩で約10分

JR両毛線足利駅より車で約15分

北関東自動車道足利ICより約20分

東北自動車道佐野藤岡ICより約20分

問合先:足利市八木節連合会 ☎0284-71-1214